



校長室から

甘利 尚之

10月28日(木)

10/21 本年度のクラブ活動 最終回

10月21日(木)、本年度のクラブ活動の最終回がありました。

一昨年度までは、年8回のクラブ活動を、地域講師の方によって行っていたと聞いています。本年度は、年度当初の計画段階において、新型コロナウイルス感染症の状況からそこまでの活動は難しいのではないかとということで、年4回の計画を立てましたが、1回は中止になり、3回の開催でした。地域講師の方にも、来校していただくのが難しい状況ともなり、8つのクラブがあるうち、「イラスト・漫画クラブ」「お箏クラブ」「サイエンスクラブ」の三つ井のクラブを指導していただくにとどまりました。



「お箏クラブ」クラブでは、実際に曲の演奏をしていました。楽器に触れての練習の回数は少なかったのではないかと思います。地域講師の先生の演奏に合わせて、硬い床の上に正座をして音を奏でる姿には、「一人前」を感じました。



「イラスト・漫画クラブ」では、私が参観に行くと、クラブ活動の感想の発表を行っていました。取り組みの成果を語る子どもたちが、講師の先生が、その言葉を補ってくれたり、大きく喜んでくれたり、評価してくれたりすることで、大変嬉しそうに取り組んでいる子どもたちの表情が印象的でした。



パソコンクラブでは、ICT支援員の方に、簡単なプログラムを組むことで自由自在に動かすことができる、球体のロボット「スフィロ スパークプラス」について教わって、夢中で動かしていました。距離感がうまくつかめず、壁や物に「激突」もしていました。大変楽しそうでした。

子どもたちが、人とつながる力を高めていくには、実際に、様々な人と、直に相互に触れあうことを通していく以外にはないと考えます。また、地域への愛着を育てていくには、地域の多様な人との触れ合いの中で、人への愛着を育てていくしかないのではないかと考えます。

クラブ活動は終わってしまいましたが、今後少しでもそんな場を設えていくことができないうか、コロナの状況をにらみながら、先生方と工夫をしていきたいと思っています。